

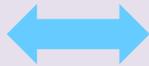


終戦から78年。この間に何を学んだのか

平和を学び、真実を学ぶ平和研修 *Learning Peace & Truth 2023*

広島・長崎の原爆が投下され、終戦から78年が経ちました。その過ちを繰り返さないために、二度と戦争はしないと誓った日本国憲法を国会で承認して発布し、それ以降、日本国内で「戦争」は起きていませんが、世界に目を向けると戦争は起きています。私たちは、なぜ、戦争は起きるのでしょうか。その「なぜ」や「真実」は何かを学び、後世に伝えていくために、千葉地本は長野地本と合同で現地で学ぶ、沖縄平和研修を開催しました。

さて、皆さんは「沖縄」と聞くと、どのようなイメージを持ちますか？青い海・白い砂浜といったリゾートを想像する人が多いと思います。しかし、イメージや学校で学習した「沖縄」と、現地で学ぶ「沖縄」とどのような違いがあるのか、研修で学んできたことを皆さんに問いかけながら情報にして報告します。



ひめゆりの塔



上記の写真で「ひめゆりの塔」はどちらでしょう？左側かと思いがちですが、本当は右側の石の塔です。インターネットで検索しても左側の写真が出てきます。左側の写真の白いのは納骨堂にカバーのようにつけられたものです。本来はその納骨堂に塔がついていましたが、カバーをかける際に取り除かれ今の位置に移動され立っています。なぜそのような事をしなければならなかったのでしょうか？

ひめゆり平和祈念資料館で、職場で取り組んだ色紙とカンパを渡してきました。ご協力頂いた組合員の皆さんに感謝申し上げます。近年はコロナの影響で入場者が減り経営が厳しいそうです。国や自治体の援助を受けると展示内容に色々制約がかかったりするので、経営は民間が行っています。この問題をどう思いますか？

平和祈念公園・平和の礎



現在は、沖縄戦で亡くなられた国内外20万人余の人々に6月23日に沖縄平和式典が開催されている施設です。また公園内には「平和の礎」がありますが、皆さんは「礎」はなんと読みますか？普通呼び名は「いしずえ」ですよね。でも、ここでは「いしじ」と読みます。なぜでしょうか？「いしじ」は沖縄の方言ですが、どこかへのアンチテーゼとも言われています。

荒崎海岸(ひめゆり最後の地)



沖縄本島最南端にあるサンゴ礁で出来たゴツゴツした海岸です。アメリカ軍に追い詰められ、本島の中央から南下して最後に着いたのがこの場所です。ひめゆり学徒9名と教師の平良松四郎の10名が集団自決しました。彼女達の御霊を弔うために、「ひめゆり学徒隊散華の碑」が建てられています。陸には銃を持った兵士、海にはおびただしい数の戦艦がいたそうです。追い詰められている状況に想像を絶することがわかります。



平和を学び、真実を学ぶ

Learning Peace & Truth 2023

千葉地本・長野地本合同平和研修 シリーズ②（沖縄）
嘉手納基地・コザ（沖縄市）

千葉地本情報第8号に続き、地本で取り組んだ平和研修について、今一度皆さんと一緒に平和について考えていくために、シリーズで平和研修をご紹介します。

嘉手納基地



嘉手納基地とは、沖縄県の本島中部にある北谷町、嘉手納町、沖縄市の2市1町にまたがり、総面積は約19.85平方キロメートルで新宿区がすっぽり収まる規模なので、どれだけ大きいかかわかるとおもいます。そして、米空軍基地としては極東で最大かつ最も活発な運用がなされている飛行基地です。写真は、沖縄市側のゲート付近の写真です。奥に見えるオレンジ色の屋根がゲートの警備塔です。この写真を見て遠くからではなく、もっと近づいて撮影すればいいのではないかと思うかもしれませんが、これ以上近づいて撮影すると、米軍に捕まるそうです。また、写真ではわかりませんが、奥に伸びる道路にオレンジ色のラインが引いてあります。そこから先は、「アメリカ」です。もちろん、ラインを超えると逮捕されます。その様な現実と隣合わせで住民の方は日常生活を送っています。

コザ騒動とコザの街（沖縄市）



これらの写真は、どこの国の写真でしょうか？これらは紛れもなく沖縄県沖縄市のコザの写真です。まさに「アメリカ」といった雰囲気が出る街並みです。コザとは沖縄市の中心市街地であるコザ十字路から胡屋地区、中の町地区まで広がる文化圏の愛称です。米軍の嘉手納基地がある街なので、このような雰囲気にりましたが、基地の街だからこその事件も起きています。それが「コザ騒動」です。コザ騒動とは、1970年12月アメリカ人が運転する車両が道路横断中の男性と衝突して怪我を負わせた事故でした。事故処理中のMPを見物人が取り囲み、「糸満の二の舞を繰り返すな」と騒ぎました。糸満市で主婦をれき殺した米兵が軍事裁判で無罪となったばかりで、米軍への反感は高まっていた中に、MPの威嚇発砲をきっかけで駐車中のMPや外人車両に次々と放火し始めました。しかし、略奪や死者は出なかったそうです。よって、「暴動」ではなく「騒動」と呼んでいます。

（一部沖縄県のホームページより引用）





Learning Peace & Truth 2023

平和を学び、真実を学ぶ

千葉地本・長野地本合同平和研修 シリーズ③（沖縄）
嘉数高地・対馬丸記念館

千葉地本情報第8号に続き、地本で取り組んだ平和研修について、今一度皆さんと一緒に平和について考えていくために、シリーズで平和研修をご紹介します。

嘉数高台からの普天間基地



嘉数高台から望む普天間基地。この写真の中央に見えるのが普天間基地です。街中にあり、見えにくいと思いますが、逆に表現するとそれだけ基地の周りに住宅があるということです。なぜ、危険と知りながら、基地の周りに住宅があるのでしょうか？それは、基地の中に自分の土地やお墓があるから基地の近くに住まわず得ないのです。

位置関係を見てみよう！

普天間基地

住宅地

こんなに基地と住宅地が隣接！

嘉数高台



Googleマップより引用

対馬丸記念館

対馬丸とは、戦争の足音が聞こえてきた昭和19年8月21日、学童集団疎開の子どもたちを乗せて出港し、翌日の22日22時頃アメリカの潜水艦の魚雷によって撃墜された疎開船のことです。そのことを現代に伝え、戦争に巻き込まれた子どもたちやその親、教師の無念を伝える記念館です。子どもたちの遺品や当時の時系列など詳しく伝えています。このことはあまり知られていません。それもそのはず、当時は緘口令を敷かれていて「決して語ってならん」と言われていた。その記念館を同じ世代の子ども育てる親として、遺品や遺影を見るととても切なく思いました。今後このようなことが起こらないとも言い切れない世の中、あの当時と同じ状況になった時自分たちはどのように行動していくべきなのかと考えさせられます。教科書にはほとんど記載されていない事実を皆さんの目で見てください。



各分会で取り組んだ色紙を渡しました



対馬丸記念館ホームページより引用



平和を学び、真実を学ぶ

Learning Peace & Truth 2023

千葉地本・長野地本合同平和研修 シリーズ④（松代）

千葉地本は、長野地本と合同で沖縄平和研修に続き、松代平和研修を開催して来ました。「えっ？松代ってどこ？そもそも、松代と平和って関係があるの？」と思う方もいらっしゃると思います。その松代に何があるのか、沖縄とどのような関係があるのか？学んで来ました。

長野県長野市松代に何があるのか？

松代には「松代大本営地下壕」が今も残っており、その一部が公開され見学出来ます。では、松代大本営地下壕とは何か。それは、第二次世界大戦の末期、軍部が本土決戦の最後の拠点として、極秘のうちに、大本営、政府各省、当時のNHK等をこの地に移すという計画のもと、昭和19年11月11日から翌20年8月15日の終戦の日まで、およそ9ヶ月の間に建設されたもので、突貫工事を行い、全工程の約8割が完成しました。作ろうとした場所は、舞鶴山(まいづるやま)を中心として、皆神山(みなかみやま)、象山(そうざん)に碁盤の目のように掘り抜かれ、その延長は約10キロメートル余りに及んでいます。ここは地質学的にも堅い岩盤地帯であるばかりでなく、海岸線からも遠く、近くに飛行場があり、長野県の信州(しんしゅう)という響きが神州(しんしゅう)に似ているという理由でここ松代が選ばれました。この地下壕建設にあたり、多くの労働者が動員され、劣悪の環境下で労働を強いられていました。その労働者の中に、朝鮮から強制敵に連れてこられた方も多くいました。



沖縄との関係は何か！

大本営は本土決戦に備えて、その機能を松代に移すことを決めたのですが、建設する時間がありませんでした。そこで日本で唯一地上戦が行われた沖縄戦を一日でも長くして、松代大本営地下壕を建設する時間を稼いだということです。沖縄の地上線は勝つ気がない戦で「捨て石」とも言われています。この間にいくつもの尊い命が失われました。いつの時代も犠牲になるのは弱い立場の労働者です。

国体護持

そもそも「国体」とは、国家の状態、国柄のこと。または、国のあり方、国家の根本体制のことを言います。それらを維持するために松代大本営地下壕と天皇の御座所が作られその近くに三種の神器を納める場所を作りました。国民が命を懸けて戦争や飢えに苦しんでいるさなか、国家は国体維持に躍起になっていました。どの時代も国民は置き去りです。当時は意見を言えるツールや状態ではなかったと思いますが、今は違います。国民が主権です。今を変えるには選挙に行き、国を変えなければなりません。平和研修からも今を学ぶことが出来ます。

**平和でなくては労働者は働けない！
平和こそ労働者が求める最大の価値です！**